

報告事項ケ

鳥取県立鳥取聾学校における説明会情報メール配信時の個人メールアドレスの流出について

鳥取県立鳥取聾学校における説明会情報メール配信時の個人メールアドレスの流出の概要について、別紙のとおり報告します。

平成26年6月3日

鳥取県教育委員会教育長 山本仁志

鳥取県立鳥取聾学校における説明会情報メール配信時の個人メールアドレスの流出について

平成26年6月3日
特別支援教育課

鳥取聾学校職員が、手話普及支援員に対する説明会の開催案内をメールで一斉送信した際、メールアドレスを「bcc」でなく、誤って「宛先」に入力したため、手話普及支援員の個人メールアドレスが支援員間に流出した。

情報が流出した支援員に、電話で謝罪するとともに、誤って送信したメール（流出した個人メールアドレス）の削除を依頼し、削除を確認した。

1 確認日時

平成26年5月29日（木） 午前8時20分頃（2のメールを確認した時間）

2 確認の経過

5月28日（水）の午前10時52分頃、手話普及支援員宛に説明会開催の情報発信メールを送信したところ、1名の支援員から「他人のアドレスが見える状態で一斉メールが届いた」とのメール連絡が午後10時26分に鳥取聾学校にあった。

3 原因

担当者が配信する説明会情報を送信する際、支援員のメールアドレスを「bcc」ではなく、誤って「宛先」に入力し、そのまま配信してしまった。

4 流失した情報等

- (1) 流失した個人情報の内容 支援員のメールアドレス
- (2) 流失した件数 16件

5 対応状況

電話による謝罪及び削除依頼

- ・メールアドレスが見える状態でメールを送信したことについて謝罪
- ・併せて、個人情報が含まれるため送信メールの削除を依頼し、削除を確認

6 再発防止策

- ・以前から、複数での確認体制をとって対応していたが、人事異動によりこの対応の徹底ができていなかった。今後は、全職員に対して、複数での確認体制を周知徹底する。
- ・知事部局で検討しているメールソフトの改修も参考に、ハード面での対応策が実施できないか検討する。